

平成 27 年度「目標達成のための具体的施策」進捗状況評価

【資料第 3 号】

<評価>

「良好」 = 施策の工夫や改善により、何らかの成果が得られたもの

「継続」 = 施策について実施済みであるが、引き続き行っていくもの

「改善・見直し」 = 施策の内容について再検討が必要とされるもの

大項目	中項目	評価	施策の実施状況と主な成果	今後の課題や方向性
1 区民を対象とした普及啓発・協働の推進	(1) 情報の提供	継続	<ul style="list-style-type: none"> ● 「ごみと資源の分け方・出し方（保存版・新聞折込版・4 か国語版）」、「Bunkyo ごみダイエット通信（4 回）」、児童向けパンフレット、リサイクル推進協力店リーフレットなどを作成・配布した。 ● Bunkyo ごみダイエット通信を、Bーぐるの車内に配置した。 	<ul style="list-style-type: none"> ● Bunkyo ごみダイエット通信を多くの区民に読んでもらえるよう、区有施設以外の配布先を検討していく。
	(2) イベント等の開催や環境学習の場の提供	良好	<ul style="list-style-type: none"> ● 【文京エコ・リサイクルフェア】10月24日 ブース出展 18 団体 【ステージ・エコ（フリーマーケット）】 区民ひろば 5 回、教育の森公園 2 回開催。 ● 【モノ・フォーラム】2月17日「大量リサイクルから 2 R 優先へ」 講師 中井八千代氏 27 名参加 ● 【リサイクル推進サポーター養成講座】5月13日～6月10日（全 5 回） 一般 9 名参加 リサイクル推進サポーターの聴講 5 名 ● 【団体育成支援公開講座】12月9日「3 R と整理収納～お片付けは、家に持ち込む前から始まっている～」講師 芳賀裕子氏 50 名参加 	<ul style="list-style-type: none"> ● ごみや環境への関心が薄い区民に対しては、気軽に参加できるイベントの中で 3 R 啓発を行い、意識の向上を図っていく。 資源の分別も更なる周知を図るよう、様々な機会をとらえて啓発を図る。 ● リユース推進事業として、子ども用品の交換イベントを試行したところ、参加者も多く、好評であった。定期開催を検討。

大項目	中項目	評価	施策の実施状況と主な成果	今後の課題や方向性
1 区民を対象とした普及啓発・協働の推進	(2) イベント等の開催や環境学習の場の提供		<p>【団体育成支援バス見学会】8月21日 見学先:キューピー五霞工場・新河岸水再生センター等 37名参加</p> <p>【集団回収実践団体バス見学会】11月17・18日 見学先:ペットリフアインテクノロジー・麒麟ビール 51名参加</p> <p>【エコ先生の特別授業】10回実施 大人144名 子ども21名参加</p> <p>【ふれあい講座】区立小学校15校、筑波大附属支援学校、文京盲学校、久堅保育園で実施。延べ912名受講</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 【子ども用品とりかえっこ～衣類とおもちゃの無料交換会～】 11月28日 300家族参加、出品数4,300点 交換数3,200点 ● クールアースフェア（環境政策課主催）に出展。エコ資源の回収、ごみと資源の分別クイズ等を実施。 	
	(3) 地域活動団体等との連携	継続	<ul style="list-style-type: none"> ● Bunkyo ごみダイエット通信の町会による配布や、ステージ・エコやエコ・リサイクルフェアなど各種事業においてリサイクル・環境団体と協働して3Rの普及啓発に取り組んだ。 ● 管理人のいない集合住宅の居住者に対して、不動産賃貸契約の機会を捉えた情報提供や普及啓発を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 引き続き、地域活動団体・リサイクル・環境団体と連携し、3Rの普及啓発に取り組む。 ● 集合住宅に対し、集団回収の勧奨や適正排出の啓発を図る。

大項目	中項目	評価	施策の実施状況と主な成果	今後の課題や方向性
普及啓発・協働の推進 2 事業者を対象とした	(1) 情報の提供	継続	<ul style="list-style-type: none"> ● 廃棄物管理責任者講習会において、より具体的にその役割の重要性を理解してもらうことを目的としたDVDを作成した。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 作成した事業者の先進的な取組み事例のDVDを廃棄物管理責任者の講習会で活用するとともに、HPにも掲載して周知することで、事業者の3R活動や適正処理の促進を図っていく。
	(2) 事業者との連携	継続	<ul style="list-style-type: none"> ● 3Rや適正処理に積極的に取り組む事業者の表彰については、顕著な功績をあげた、小石川4丁目ビル（大規模建物）、東京トヨペット（中規模建物）に感謝状の贈呈を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 区民の利便性を図るため、ごみと資源の分け方・出し方の冊子に、事業者の広告等の掲載を検討する。
3 家庭系の3Rの推進	(1) 集団回収の拡充	継続	<ul style="list-style-type: none"> ● 集団回収未実施の新築集合住宅へのPR実施や報奨金・支援金や作業補助用具の支給、回収実績が優良な団体に対する感謝状贈呈などを行い、集団回収のさらなる拡充と活動の支援に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 集団回収実践団体の登録数は年々増加しているため、引き続き支援を行っていく。 ● 新築集合住宅を中心にPRを行う。
	(2) 資源回収の拡充	継続	<ul style="list-style-type: none"> ● 資源の持ち去り対策のため、清掃職員によるパトロールや警察と連携した取締りを行った。 ● 新たな回収方法および回収品目として、金属類・水銀使用の体温計等の検討を行い、移動拠点回収の検討を進めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 引き続きGPS端末の設置など効果的な取り組みを行っていく。

大項目	中項目	評価	施策の実施状況と主な成果	今後の課題や方向性
3 家庭系の3Rの推進	(3) 生ごみ減量活動の推進	良好	<ul style="list-style-type: none"> ● 【コンポスト化容器の斡旋】 7基斡旋（地上型4基、ベランダ型3基） ● 【生ごみ減量講座】 初級コース「生ごみ堆肥の作り方」5月14・21日 12名参加 中級コース「生ごみ堆肥の使い方」6月16・23日 17名参加 ● 【生ごみ交流会】3月4日 29名参加 ● 【エコ・クッキング教室】 親子対象 7月30・31日 各日11組参加 一般対象 11月26日 19名参加 エコ・クッキング教室の親子講座を1・2年と3～6年に分けて開催し、理解度や内容の充実を図った。ガスの科学館を会場とし、施設を利用した3Rの啓発を行うこともできた。 ● 【フードドライブ】食品ロス対策として、未利用食品を回収し、フードバンクに寄付を行うフードドライブを実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 楽しみながら生ごみの減量を図る取り組みとして生ごみ減量講座やエコ・クッキングを行っているが、食品ロスについても啓発を図り生ごみの減量につなげていく。 ● フードドライブはステージ・エコ等のイベントに合わせ実施していく。
	(4) 再使用の推進	良好	<ul style="list-style-type: none"> ● 区内フリーマーケットの開催情報をHPに掲載するほか、リサイクルショップなどの情報を提供し、区民のリユースを促進した。 ● リユース推進事業として「子ども用品とりかえっこ～衣類とおもちゃの無料交換会～」を開催（再掲）。 	<ul style="list-style-type: none"> ● リサイクル推進協力店については、修理やリサイクルショップの新規登録店舗を増やしていく。 ● リユース促進事業の定期開催を検討する。

大項目	中項目	評価	施策の実施状況と主な成果	今後の課題や方向性
4 事業系の3Rの推進	(1) 大規模事業所の3R推進	継続	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業用建築物立入調査や廃棄物管理責任者への講習会等を通じて、3Rと適正処理の推進を働きかけた。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 食品リサイクル法に基づく生ごみリサイクルについては、事業用建築物指導の際に働きかけを行っているが、コスト等の面から実施していない事業所が多い。
	(2) 小規模事業所の3R推進	継続	<ul style="list-style-type: none"> ● Rサークルオフィス文京に対してはチラシの作成、印刷製本組合に対して資源の回収袋を作成・支給し、取組みの支援を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 生活衛生課の食品関係事業者向け食品衛生実務講習会において、生ごみの取り扱いが改善するような普及啓発の実施を検討する。
	(3) 区の率先した取組みの推進	継続	<ul style="list-style-type: none"> ● 庁内LANにBunkyo ごみダイエット通信の発行について掲載し、職員全体への周知・啓発を行った。 ● 紙類の再使用や分別の徹底について、まずリサイクル清掃課のあるフロアでの取組み強化を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 紙類の再使用や分別の徹底について、全庁的な取組みの強化を図る。
5 適正処理の推進	(1) 適正な収集体制の維持	継続	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者等を対象とした訪問収集、防鳥ネットの貸出、動物死体の処理などの事業につき、引き続き実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 引き続き、ハイブリッド車など低公害車の継続的な導入により、環境負荷の低減に努める。
	(2) 区で収集しない廃棄物への対応	継続	<ul style="list-style-type: none"> ● 家電リサイクル法対象機器やパソコン、事業者等が自主回収をしている品目については、事業者への引き渡しについて周知を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 家庭用パソコンへの対応については、宅配便を活用した小型家電の回収を行っている認定事業者と連携を図っていく。

大項目	中項目	評価	施策の実施状況と主な成果	今後の課題や方向性
5 適正処理の推進	(3) 適正排出の推進	継続	<ul style="list-style-type: none"> ● 集積所利用の事業者に対する有料ごみ処理券の適正貼付指導や、不適切な排出者に対するふれあい指導などを通じて、ごみ・資源が適正に排出されるよう働きかけを行った。 ふれあい指導 8,210件（平成27年度） 	<ul style="list-style-type: none"> ● ふれあい指導の件数は増えており、引き続き適切な指導、相談業務を行っていく。
	(4) 事業系ごみの自己処理の促進	継続	<ul style="list-style-type: none"> ● 適正な収集運搬・処理処分が行われるよう、一般廃棄物処理事業者に対して、許可の更新や更新時の指導などを行った。 ● 事業系ごみの自己処理原則の考え方を促進するため、排出事業者に対する一般廃棄物処理業者の斡旋を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 一般廃棄物処理業者の斡旋については、電話で随時対応しているが、質の良い業者を紹介してほしいとの要望が多いことから、個別の業者を紹介できるか検討する。
	(5) 中間処理・最終処分	継続	<ul style="list-style-type: none"> ● サーマルリサイクルのほか、鉄・アルミ等の資源を回収するなど、中間処理段階でのリサイクルを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 中間処理後、東京都が管理する最終処分場において埋立処分しているが、引き続きごみの減量等により、最終処分場の延命化に努める必要がある。
	(6) 災害時の対応	継続	<ul style="list-style-type: none"> ● 23区リサイクル清掃主管課長会において、災害時のし尿およびがれき処理の具体的対応策についての検討を行った。 ● 【災害時等を想定した配車訓練】6月に実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 引き続き、課題解決に向けて検討を継続する。 ● 災害廃棄物処理対策（ごみ・し尿・がれき等）のマニュアル作成に必要事項を検討する

大項目	中項目	評価	施策の実施状況と主な成果	今後の課題や方向性
6 運営管理体制の充実	(1) 双方向の情報交換と区民参画	継続	<ul style="list-style-type: none"> ● 【リサイクル清掃審議会】第5期 5回開催。文京区一般廃棄物処理基本計画の中間年度見直しの考え方および事業の方向性を審議。 ● リサイクル推進サポーター連絡会での懇談会や自主会議が4回開催され、サポーターによる主体的な3R推進活動の取組みについて話し合われた。 	<ul style="list-style-type: none"> ● サポーター同士が連携して行う3R推進活動については、具体的な活動案はまとまっていないが、引き続き支援を行っていく。
	(2) 国等への要望	継続	<ul style="list-style-type: none"> ● 製造・販売事業者の拡大生産者責任に基づく取組みやエアゾール缶等の安全な収集・処理、容器包装リサイクル法改正等について、全国都市清掃会議や全国市長会を通じて国や業界団体へ働きかけを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 容器包装リサイクル法については、全国市長会等を通じて国に要望している。引き続き国の改正作業を注視しつつ、様々なチャンネルを利用し要望していく。
	(3) 行政内部での連携	継続	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境政策課の区報掲載記事「文京版クールアース・デー」において、食生活とエコについて具体的な取組みを掲載し啓発を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 引き続き、各事業で関連部署との連携・協力を図っていく。
	(4) 処理費用負担の検討	継続	<ul style="list-style-type: none"> ● 家庭ごみの有料化については、区民1人1日当たりのごみ量が順調に減っていることから、現時点で有料化の検討しないものとした。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 引き続き、ごみ減量や3R推進のための働きかけを十分に実施し、そのうえでもなお、数値目標が達成できない場合において検討を行う。
	(5) 情報の公開	継続	<ul style="list-style-type: none"> ● ごみや資源量、コストに関する情報のほか、一般廃棄物処理基本計画の進捗状況についてもホームページやBunkyoごみダイエット通信にて公開した。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 引き続き、事業概要やホームページ、Bunkyoごみダイエット通信等で情報公開を行っていく。